

日 時：令和 2 年 1 月 27 日（月） 14：00～17：00

場 所：日本薬学会 長井記念館 1 階 AB 会議室

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

○報告・協議事項

1. 2019 年度第Ⅲ期実務実習実施状況・実務実習の良い事例の報告

資料 1 及び資料 2 に記載された事項を中心に、各地区支部長が第Ⅲ期実務実習の報告を行った。主に、8 疾患の取り扱いや概略評価の理解、施設訪問についての問題点が出され、それについて意見交換を行った。また、各地区において良い事例集をぜひ活用していただきたいと本間代表理事が発言した。

2. 実務実習割振り調整について

資料 3 及び資料 4 に基づき、ふるさと実習の推進に関して意見交換が行われた。各地区において様々な事情があるが、エントリー時期が揃うと大学はエントリーし易い、また申込みフォームも統一した方が良いのではないか等の意見が出された。また、中国・四国地区では多数のふるさと実習を実施しており、受け入れ可能な地域を頻繁にお知らせする等工夫していることが紹介された。

本件については、本部で検討し今後提案することになった。

3. 第 11 回薬学実務実習に関する連絡会議の報告

文部科学省福島氏より第 11 回薬学実務実習に関する連絡会議について報告いただいた。アンケート調査により、多くの施設で適切に実務実習が行われていることが分かったが、資料 5 に記載の主な意見（課題）も挙げられた。資料 5 に基づき、これらの課題に対する対応についての説明があり、各大学及び実習施設においては、もう一度点検を行っていただき、改善すべき点があれば改善した上で、令和 2 年度以降の実習を実施いただきたいと依頼があった。

アンケート調査結果および資料 5 については、都道府県薬剤師会や都道府県病院薬剤師会等と共有することを申し合わせた。

また、アンケート調査実施の協力のお礼と、第Ⅳ期も同様にアンケート調査を実施したいため再度ご協力いただきたいと福島氏から依頼があった。第Ⅳ期のアンケート調査は近日中に本部より各地区へ依頼する。

4. 施設概要書について

前回の本委員会において話題となり、文科省へ回答をお願いしていた施設概要書や実務実習実施計画書については、

○それぞれの書類は使用意図が異なるため、現状の運用通りである

○文科省の設置審で義務付けた施設概要書については、既設大学は薬学教育 6 年制設置申請時から完成年度まで確認済であるので新たな提出は求めている

旨が福島氏より説明があった。

また、各地区が管理している施設概要書を本部で一元的に把握する必要性について本間代表理事が質したが、施設概要書の内容は各地区間の違いはほぼ無いとの意見が出された。また、各地区で適切に管理しており本部から地区に要請があった場合はすぐに情報共有できるとの意見が出され、現時点で特に一元管理する必要は無いとの結論に至った。

5. 認定実務実習指導薬剤師養成研修（講習会）について

以下の点について日本薬剤師研修センターの豊島理事長宛に提案書を提出し、センターの豊島理事長、浦山専務理事と協議会の本間代表理事、伊東専務理事、事務局（関藤、木村両名）が話し合ったことを本間代表理事が報告した。

<日本薬剤師研修センターへの提案内容>

- 1) 各地区調整機構が、認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップと講習会とを一体として計画的に企画するために、講習会の実施主催者を薬学教育協議会としたい（各地区からの企画申請を協議会宛とし、認可を協議会から行う）。
- 2) 現在のDVDで視聴する形式についての検討とともに、内容を時代の変化に合わせたものとする検討を協議会のワークショップ実施委員会で行いたい。
- 3) 時代の変化に対応した内容や地域で必要とされる内容を盛り込んだアドバンスワークショップと講習会を企画して更新要件としたい。

<話し合いの結論>

令和2年10月に、講習会の実施要綱の実施主催者として薬学教育協議会を明示する（令和3年4月施行）。今後各関係団体への周知を図る。また、講習会やアドバンスワークショップの内容については、今後薬学教育者ワークショップ実施委員会で検討する。

委員からは、ワークショップや講習会の開催には費用がかかるため、補助金を検討してほしいとの意見が出された。また、認定実務実習指導薬剤師の認定業務は日本薬剤師研修センターが引き続き行うことを本間代表理事が説明した。

- 認定実務実習指導薬剤師制度における産前産後休暇、育児休暇の取り扱いについて
本制度により新規申請または更新できない薬剤師が増えている現状があるため、検討してほしいとの意見が出された。本間代表理事が、本制度は日本薬剤師研修センターが定めているもので、更新については一部要件が平成29年に緩和されたことを説明した。しかし、まだこのような意見があるとのことは、今後折を見て日本薬剤師研修センターに伝えると発言した。

6. 共用試験センターからの依頼について

資料6のとおり、薬学共用試験センターより薬学共用試験において特別配慮を受けた学生その後の実務実習における実態調査について依頼があり、調査を受けるかについて協議した。デリケートな性質のものであるが、今後の共用試験や実務実習の質向上のために、依頼方法や取り扱いに充分配慮して実施することになった。

7. 薬学実務実習 WEB システムについて

以下の3点について、WEB システム検討委員会の木津委員長が説明した。

- 1) 閲覧期間について、前回の委員会で出された意見を業者へ相談したところ、富士ゼロックスからは、大きな改修となるため、閲覧に関する改修を優先すると他の改修が出来なくなるといった影響も考えられると回答があった。ついては、他の項目を優先して改修していただき、しばらくはこのままとしたい。また、STS も改修はすぐには難しいため、システム利用大学と打ち合わせのうえ、対応を検討したとのことだった。
- 2) 第Ⅱ期後の要望の改修について、富士ゼロックスは2021年度の実習に間に合うよう対応するとのこと。STS はすでに改修済みである。
- 3) 多くの要望が寄せられているため、WEB システム検討委員会にワーキンググループを作って要望を精査した上で業者に依頼したいと木津委員長が提案し、了承された。

8. その他

● 実習受入れ機関の不祥事について

今後何か不祥事が起きた場合には、以下のように対応することを確認した。

- 1) 実習中の学生の派遣等の対応は各大学に任せること
- 2) 地区調整機構は、基本的に大学の意向に従い、協議して決定することとし、病院・薬局実務実習中央調整機構委員会は特段の対応はしないこと

ある大学より当該地区調整機構へ、2021年度実務実習は第Ⅰ期と第Ⅱ期で終えたいとの要望があったことが報告された。第Ⅰ期と第Ⅱ期で全学生の実習を終えるためには、薬局→病院と病院→薬局の順番の実習を半々で行い、またトライアルとして行いその教育効果について報告したいとの申し出であることが報告され、意見交換が行われた。主な発言は以下のとおり。

- ・全国での申し合わせ事項である、薬局→病院の順番を守ってもらいたい。
- ・実務実習のスケジュールについては、地域の実情に合わせて柔軟な対応が可能ではないか。
- ・文科省、福島専門官から以下の発言があった。

平成27年2月10日付の「薬学実務実習に関するガイドライン」では、病院、薬局の実習期間については、連続性のある22週間とし、各施設11週を原則とするが、大学が主導し病院→薬局が連携して更に学習効果の高い方略や期間等を検討し実習を進めることも可能である（ただし、22週を下回らないこと。）とされ、この場合、大学が具体的な実習期間を設定し、実習施設、関係団体との十分な協議の上で決定する、とされている。また、平成28年11月30日開催の第7回薬学実務実習に関する連絡会議では、実習の順序は薬局→病院の順を原則とすることが確認されたところである。

- ・本間代表理事から以下の発言があった。

今回出された意見を当該大学へ伝えてほしい。次回改めて意見交換したい。

以上

別記 1 第 40 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会出席者名簿

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
北海道地区調整機構	宮本 篤	○
東北地区調整機構	小笠原 恵子	○
関東地区調整機構	吉山 友二	○
北陸地区調整機構	松下 良	○
東海地区調整機構	鈴木 匡	○
近畿地区調整機構	濱口 常男	○
中国・四国地区調整機構	二宮 昌樹	○
九州・山口地区調整機構	入倉 充	○
日本薬剤師会	田尻 泰典	○
	渡邊 大記	○
日本病院薬剤師会	栗原 健	○
	石井 伊都子	○
日本保険薬局協会	原 正朝	欠
WEB システム検討委員会委員長 (オブザーバー)	木津 純子	○
薬学教育協議会本部	本間 浩	○
	伊東 明彦	欠
	平田 収正	○
	望月 正隆	欠
文部科学省高等教育局医学教育課	福島 哉史	○
	唐沢 浩二	○
	降旗 みを	○
厚生労働省医薬・生活衛生局総務課	安川 孝志	欠
	太田 美紀	欠
	三山 由美子	欠
	中 雄一郎	欠

別記 2 配付資料

- 資料 1 : 2019 年度第Ⅲ期実務実習に関わる各地区の報告書
- 資料 2 : 2019 年度第Ⅲ期実務実習の良い事例の報告書
- 資料 3 : 令和 2 年度ふるさと実習割り振り調整結果
- 資料 4 : 令和 3 年度に向けた割り振り調整スケジュール
- 資料 5 : 実務実習の実施状況を踏まえた課題と対応について（文科省より）
- 資料 6 : 薬学共用試験における特別配慮学生の調査の件（薬学共用試験センターより）
- 資料 7-1 : 実務実習 WEB システム改修について（富士ゼロックスより）
- 資料 7-2 : " 閲覧期間について（富士ゼロックスより）
- 資料 7-3 : " 改良版リリースノート（STS より）
- 資料 7-4 : " 閲覧期間について（STS より）
- 資料 8 : 処方箋の不適切な取扱いに関して、実務実習についてのお願い
第 39 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録